

「一点」の差が合否を分ける！ 今覚えたい、国語の知識⑥

解答

☆特に医療・看護系進路を考えている者、大学入試の科目で国語が必要となる可能性の者は積極的に取り組んでください。

1 カタカナ部を漢字に直して答えよ。

2 次の空欄に当てはまる語を後から選べ。

① タコはキユウバンで獲物をとる。

① 好機□来

⑥ 弊衣破□

② 落ち込んでいる友人をハゲました。

② 明鏡□水

⑦ □制緩和

③ 喜びイサんで観光に出かけた。

③ 粉□決算

⑧ 志操□固

④ 古風なエガラ洋皿を買う。

④ □小棒大

⑨ □力更生

⑤ 山をカンツウして道路を整備する。

⑤ 合従□衡

⑩ □来復

⑥ 船のドウタイに穴があく。

① 自己同一性。

3 次の意味に合うカタカナ語を後から選び、答えよ。

⑦ アミダナから荷物を下ろす。

② 自我。利己主義。

エゴ

⑧ カの鳴くような声で話す。

③ 世界全体にわたるさま。世界的な。

グローバル

⑨ コーチへの就任要請をカイダクする。

④ 文章の前後のつながり。文脈。

コンテクスト

⑩ ムジュンに満ちた人生だった。

⑤ 相反する二つの事柄の板挟みになつて動きがとれなくなる事。

ジレンマ

⑪ 信者に厳しいカイリツを課す。

⑥ 民主主義。

デモクラシー

⑫ 背骨のゆがみをキョウセイする。

⑦ 逆説。

パラドックス

⑬ 年の暮れはアワただし。

⑧ ピラミッド型の上下関係によつて秩序づけられた組織。階層制。

ヒエラルキー

⑭ 議会の少数派にカタイレれる。

4、次の文章はある小説の冒頭文である。作者名を選べ。

1、石炭をば早はや積み果てつ。中等室の卓のほとりはいと静にて、熾熱燈の光の晴れがましきもいたづらなり。

森鷗外

2、えたいの知れない不吉な塊が私の心を始終おさえつけていた。

梶井基次郎

3、隴西の李徴は博学才穎、天室の末年、若くして名を虎榜に連ね、ついで江南尉に補せられたが、性、狷介、自ら恃むところすこぶる厚く、賤吏に甘んずるを潔しとしなかつた。

中島敦

⑲ 狂言やガガクを鑑賞する。

4、山の手線の電車で跳ね飛ばされて怪我をした、其後養生に、一人で但馬の城崎温泉へ出掛けた。

志賀直哉

⑳ 業績不振でカイコを言い渡された。

5、私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。

夏目漱石

㉑ 食べかすが歯間にハサまる。

梶井基次郎 太宰治 宮沢賢治
中島敦 志賀直哉 夏目漱石 森鷗外

吸盤	励	勇	絵柄	貫通	胴体	網棚	蚊	快諾	矛盾	矯正	慌	肩入	越冬	一瞬	奥底	襟	雅楽	解雇	均衡	挟
----	---	---	----	----	----	----	---	----	----	----	---	----	----	----	----	---	----	----	----	---